STREET IMPRESSION
MONROE Reflex

独自技術ツインディスクが生むしなやかな乗り心地

路面を問わない心地よさ

純正OEM供給で鍛えられたモンロー。実は欧州車の対応車種も多く、
ショックアブソーバーの減衰力を調整するシムの種類は世界で一番という。
そんなモンローのツインディスクテクノロジーを搭載した足まわり、リフレックスをゴルフ6でテストした

写真◉田村 弥
文◉熊崎圭輔（af imp.）

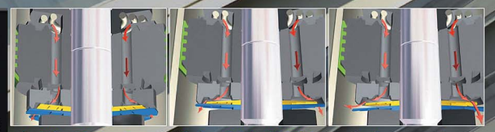
MONROE Reflex

←不規則な石畳の路面を滑らかにいなすリフレックス。微低速域のバルブコントロールが巧みで、乗員は不愉快に揺すられることはない。逆にいえば、石畳の風情はあまり伝わってこないということになる

欧州車のプロもその性能を絶賛

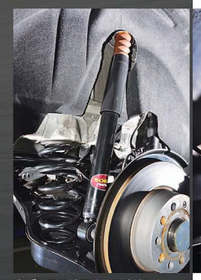
→「短いホイールベースのゴルフでもしっとりとした乗り味です。お金を払う意味がこのショックにはあります」とヤナセオートシステムズ・エリアセンター営業部副部長の長瀬サン

←「FFのマクファーソンストラットであれだけ曲がってくれると思わなかった。しっかり走れるいいショックですね」と同社アフターセールスマネージャーの浜サン

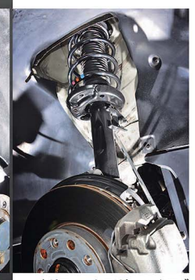


全域でピストンスピードを的確にコントロール

←↑左から微低速域、低速域、中高速域をあらわすイラスト。黄色と青色で示されているのが、モンロー独自のツインディスク。微低速域では、重なった2枚のディスクに開けられたオリフィス（小さな孔）を通じてダンパーオイルが流れる。低速域では1枚目のディスクを開放、そして高速域では2枚目のディスクを開放して、流量を多段的に増加させるという仕組み。ピストンスピードに応じて、オイル流量を細かくコントロールすることができる。0.3㎜/1秒以下のピストンスピードでも減衰を発生させているので、乗り心地がいいのだ



↑ゴルフのリアはマルチリンクのためアブソーバーとスプリングは別体式。ストローク量、減衰圧が適切で、純正ではハネ気味なリアも落ち着いている



↑リフレックスはショックアブソーバーのみなので、スプリングは純正を使用。車高は変わらないので、ディーラーや車検でもまったく問題はない

必要なときに瞬時に反応する懐の深い上質な足まわり

欧州車の足まわりは、日常で使う速度域の高さから、国産車よりもしっかりとしている。というのが一般的な認識だろう。概ね間違ってはいないし、ドイツのアウトバーンでは200㎞／hが常用域、郊外の一般道では100㎞／h制限という設定だから、弱腰な足まわりではしっかりと走ることができない。

ゴルフはその代表格だろう。いつの時代も小型車のベンチマークとして位置づけられるほど、高い走行安定性をもつ。今回は先代ゴルフ6に『モンロー・リフレックス』を組み込み、高速道路、一般道、石畳とあらゆる路面を走ってみることにした。

まず高速道路へと駆け上がる。首都高速は継ぎ目の度にクルマを揺するが、タタンタタンと何事もなく乗り越えていく。明らかに挙動の収束がよくなっており、不快感はまったくない。大きなアールをもつインターチェンジは、純正では足まわりが頑張っている印象を覚えるが、モンローでは余裕が感じられる。速度はもちろんモンローの方が上だ。

ブレーキング時の挙動もマイルド。フロント側はストロークしてノーズダイブしていくが、リア側は浮きあがらずしっかりと接地している。4輪全部で路面を掴んでいるという感覚に、安心感を覚えるのだ。

一般道でのギャップもまたスムーズ。ベルベットとは言い過ぎかもしれないが、ゴルフが一回りも二回りも上質なクルマになったようだ。減衰が立ち上がる際のコントロールが、非常に緻密に行われており、気がつけばギャップをスッといなしている。

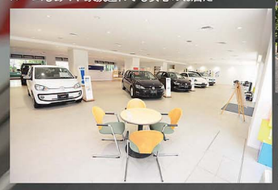
実は荒れた路面に起因する細かい振動は、疲れの原因にもなる。今回は近郊を巡るテストだったが、長距離でも疲労度はかなり低いだろう。

日本には少ない石畳も走ることができた。モンローというとアメリカンブランドと想像するだろうが、このリフレックスを始め、開発は欧州。そんな事前レクチャーを受けていたせいかもしれないが、実に滑らかに走る。微低速域の減衰の効かせ方が絶妙で、乗員はガタゴトと揺すられることなく、快適に走り抜けた。

異なる路面を通じて共通するのは、全体的な安心感の高さ。乗り味も上質で、心地のいいものであった。

→モンローを導入して3年というヤナセオートシステムズ。今回のゴルフのように新しい車種から、ゴルフ2などの古い車種まで、豊富なラインアップがされており、さらに在庫もそろっているということで、指名があれば積極的にオススメしているという

↓→今回交換作業を行ってくれたのは、東京のVolkswagen芝浦。旧海岸通り沿いに位置し、アクセスは首都高速横羽線芝浦インターからが便利。キッズルームもあり、家族連れでも安心のお店だ



TEL.03・5484・7111
東京都港区芝浦1-12-3 Daiwa芝浦ビル1F
営10:00〜18:00
休年末年始
www.yanase.co.jp/vw/shibaura/

af imp.January